

第 14 回 65 期テニスの集い

宮澤憲一（10 組）

- ◆開催日：2015 年 10 月 24 日(土)、25 日(日)
- ◆場 所：グランドエクシブ軽井沢
- ◆参加者：牧野泰晴(1組)、関賢治(2)、原田義則(3)、浅倉英樹(4)、若柳直人(4)
布施修一郎(6)、内堀信(6)/夫人は会食と応援、佐藤徹郎(7)、宮澤(10)、中山正光(11)

65 期テニス同好の士は、春は蕨(埼玉)、秋は軽井沢に集まり恒例の大会を開催している。早いもので、今回は 14 回目(軽井沢では 8 回目)となる。

会の目標は<テニスを通じ健康を維持し懇親を深め、古稀まで会を続けよう>であるが、古稀が数年先に近づく年齢となり、今回は<古稀ではなく、後期高齢者まで>と言い出す強者も出てきた。参加者は上記だが、今春から仲間入りした浅倉君は初の軽井沢参加となる。またテニス上達を目指し訓練中に足を骨折した佐藤君は、回復後の初戦となった。

大会前日はナイターでの調整練習後、中華レストラン<翠陽>でコース料理を満喫。円卓なので会話も弾む。二次会は宿泊ルームにて歓談。筆者は一次会で飲みすぎ、先に休もうとしたが引っ張り出され、やむなく(?)参加。原田君から、筑波大とボルドー大他のコラボにより研究生産された美味のワイン(限定販売)の差し入れ。佐藤君からは銘酒<獺祭>の差し入れと豪華な内容に左党は大喜び。関君が 65 期HPからスマホに取り込んだ高校時代の懐かしい写真を見ながら昔話に花が咲く。写真集の中に能生の海水浴集合写真があり、どういう経緯で参加者が決まったのか、参加者を含め誰も思い出せず謎のままとなった。12時にお開き。

翌日大会日は、天気晴朗で雲ひとつない青空に恵まれる。やや風があったが、ホテルのコート(オムニ)は防風対策で試合に影響は全くなし。紅葉も始まり周辺の景色も綺麗。

布施会長挨拶の後、試合開始。4 ゲーム先取のダブルスを全員が 7 試合(一部 8 試合)行う。序盤はワンサイドの試合が続いたが、中盤からは競った熱戦の連続。昼食は試合の合間の待ち時間に、おにぎり・サンドイッチをパクつき次の試合に備える。合計 18 試合が終了したのは午後 2 時頃で、一人の脱落者もなく無事終了した。

5 勝以上の成績優秀者は、関君、中山君、若柳君と筆者の 4 名。原田君は序盤苦戦したが、片目が開いたとたんに俄然調子があがり、これまで最高の 4 勝の好成績。特筆すべきは浅倉君で、最終試合に内堀君と組み初勝利(蕨大会を含め)をあげ、全員から拍手で称えられる。来春 5 月の蕨での再会を約し、解散となった。(15.10.27 記)

【次ページ写真説明】

- (1) 左から牧野、原田、関、布施、宮澤、内堀(しゃがんでいる)、佐藤、浅倉、若柳、中山
- (2) 紅葉の軽井沢で熱戦のひとつこま



写真1



写真2